令和７年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和７年９月１７日

１．団名

衆議院副議長ケニア共和国、タンザニア連合共和国及びキプロス共和国親善訪問議員団

２．目的

ケニア共和国、タンザニア連合共和国及びキプロス共和国親善訪問のため

３．派遣議員団

団長	衆議院副議長	玄　葉　光一郎	
	衆議院議員	鬼　木　　誠	（自民）
	同	福　島　伸　享	（有志）
	同	渡　辺　　創	（立憲）

同行	事務次長	小　林　英　樹
	副議長秘書	佐　藤　彰　洋
	副議長秘書	吉　野　貴　浩
	秘書課係長	藤　間　雄　樹

４．派遣期間

令和７年８月２３日（土）から９月２日（火）までの１１日間

（派遣計画においては、９月１日（月）帰国予定としていたが、帰国便欠航により、９月２日（火）帰国に変更となった。）

５．派遣国

ケニア共和国、タンザニア連合共和国、キプロス共和国

６．主な活動

（１）ケニア共和国

①シロアムの園の公文和子氏と面会し、ケニアでの障害者福祉の現状、現在の取り組みなどについて意見交換を行い、施設内を視察した。

②日本からの支援を受けているケニア国際平和支援訓練センター（IPSTC）の活動状況を聴取し、アフリカ諸国の平和支援能力向上などについて意見交換を行い、施設内を視察した。

③ウェタングラ下院議長と会談を行い、両国の議会間交流の活性化、両国間の経済連携、人材交流、日本からのケニアへの観光誘致、国連安保理改革での連携などについて意見交換を行った。

④アウォリ元駐日大使らと面会し、ケニアの若者の雇用問題、人材育成、ケニアにおけるJICAの役割などについて意見交換を行った。

⑤ケニア日本語教師会の新旧会長と面会し、ケニアにおける日本語教育の現状を聴取し、今後の発展のための課題などについて意見交換を行った。

⑥国連ハビタットのロスバッハ事務局長と面会し、スラム等の都市化問題、東日本大震災の経験を踏まえた災害からの復旧・復興の知見の活用などついて意見交換を行った。

⑦チェゲ日ケニア友好議連会長と面会し、ケニアの障害者支援問題、日本語教師のビザ更新の障壁などについて意見交換を行った。

（２）タンザニア連合共和国

①アクソン国会議長と会談を行い、両国の議会間交流の活性化、両国間の人材交流、タンザニアの税制面での課題、観光について日本の発信力の強さなどについて意見交換を行った。

②職業訓練公団（VETA）を訪問し、山形県立長井工業高校で研修等を受けた教師や学生等と意見交換を行い、施設内を視察した。

③キクウェテ首相府付国務大臣（労働・青年・雇用・障害者担当）と会談を行い、建設関係の人材育成などにおけるJICAの支援、VETAの学生と山形県長井市との交流、さくら女子中学校を通じた両国間の交流の進展などについて意見交換を行った。

（３）キプロス共和国

①ラウナ欧州担当大臣と会談を行い、二国間関係及び日本とEUとの関係、キプロスの外交戦略、日本と同様の海洋国としての連携、パレスチナのガザ地区への支援の連携、キプロス問題などについて意見交換を行った。

②ディミトリウ議長と会談を行い、両国間の連携強化、両国の議会間交流の活性化、キプロス問題についての日本の立場、邦人保護のオペレーション、ビジネス交流などについて意見交換後、共同記者会見を行った。
③国連キプロス平和維持軍（UNFICYP）の監視下にあるグリーンライン（キプロスを南北に分断する緩衝地帯）を視察した。
④現地日本企業関係者と面会し、両国間の経済関係、ビジネス交流の発展などについて意見交換を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。